

(別紙)

物件目録

- 1 商品名を「ドルフィードリーム ベースボディ II」という下記寸法のソフトビニル製可動人形

記

全 高 5 8 0 mm

全 幅 1 1 0 mm

重 量 6 3 3 g (頭部含まず)

- 2 商品名を「ミニ ドルフィードリーム ベースボディ」という下記寸法のソフトビニル製可動人形

記

全 高 3 7 0 mm

全 幅 8 0 mm

重 量 3 0 4 g (頭部含まず)

(別紙)

イ号製品説明書

- 1 ① 少なくとも脚部（左右の両脚部），腰部，胸部（胴部），腕部（左右の両腕部）に相当する部分にソフトビニル製外皮がある。
② 外皮は，スラッシュ成形により成形された塩化ビニル樹脂製の中空の軟質材である。
- 2 ① 上記外皮とは別体で，かつ上記外皮に覆われた人形を構成する人形骨格群がある。
② 左右の脚部骨格は，股関節部骨格により胴部骨格（腰部骨格，腹部骨格，胸部骨格等からなる）に連結され，胸部骨格の左右に延設された肩関節部骨格により腕部骨格に接続される。
- 3 脚部骨格は，足関節部骨格（足首関節部），下腿部骨格，膝関節部骨格，大腿部骨格，股関節骨格部等からなる。
- 4 ① 腰部骨格は，腰部骨格本体と脚部用連結部とからなる。
 - a) 腰部骨格本体は，左右一對の板状部材を対向させてネジ止めして形成するものであり，その上部には，腹部骨格との連結のための嵌合部受けが設けられ，下部には脚部用連結部の嵌合部挿通孔が設けられている。
 - b) 脚部用連結部は，棒状でかつその長手方向中央部に係止板が設けられている。
 - c) 腰部骨格は，腰部骨格本体の対向させた左右の板状部材の内側に脚部用連結部の係止板を位置させることにより，脚部用連結部が腰部骨格本体から抜け落ちないように位置決めされている。
② 股関節骨格部には，腰部骨格の脚部用連結部の嵌合部と嵌合する嵌合部受けが設けられている。
③ 腹部骨格の下部側に腰部用連結部が設けられており，その下端には嵌

合部が設けられており，腰部骨格本体の上部側に設けられている腹部用連結部の嵌合部受けに嵌合されることにより腹部骨格と腰部骨格とが連結される。

5 ① 胴部骨格は，胸部骨格，腹部骨格，腰部骨格で構成されており，それぞれ別成形されると共に揺動可能，かつ嵌合やネジ止め等によって分離・組み立て可能に連結されており，胸部骨格の左右に設けられた腕部用連結部における嵌合部受けに，肩関節部骨格から延設された嵌合部が嵌合することにより連結される。

② a) 腹部骨格は，上部側に胸部用連結部を設け，下部側に腰部用連結部を揺動可能に設けてなり，上胴部外皮及び下胴部外皮によって覆われる。

b) 腹部骨格における腰部用連結部の下端には嵌合部が設けられている。

c) 腹部骨格における胸部用連結部は，胸部骨格における腹部用連結部の嵌合部受けに嵌合される嵌合部が設けられており，嵌合されることにより回転可能に連結される。

③ a) 胸部骨格は，上胴部外皮によって覆われ，下部側には，下方向に開口する嵌合部受けが設けられ，略中央部左右には，肩関節部骨格に延設された嵌合部と嵌合する嵌合部受けが設けられている。

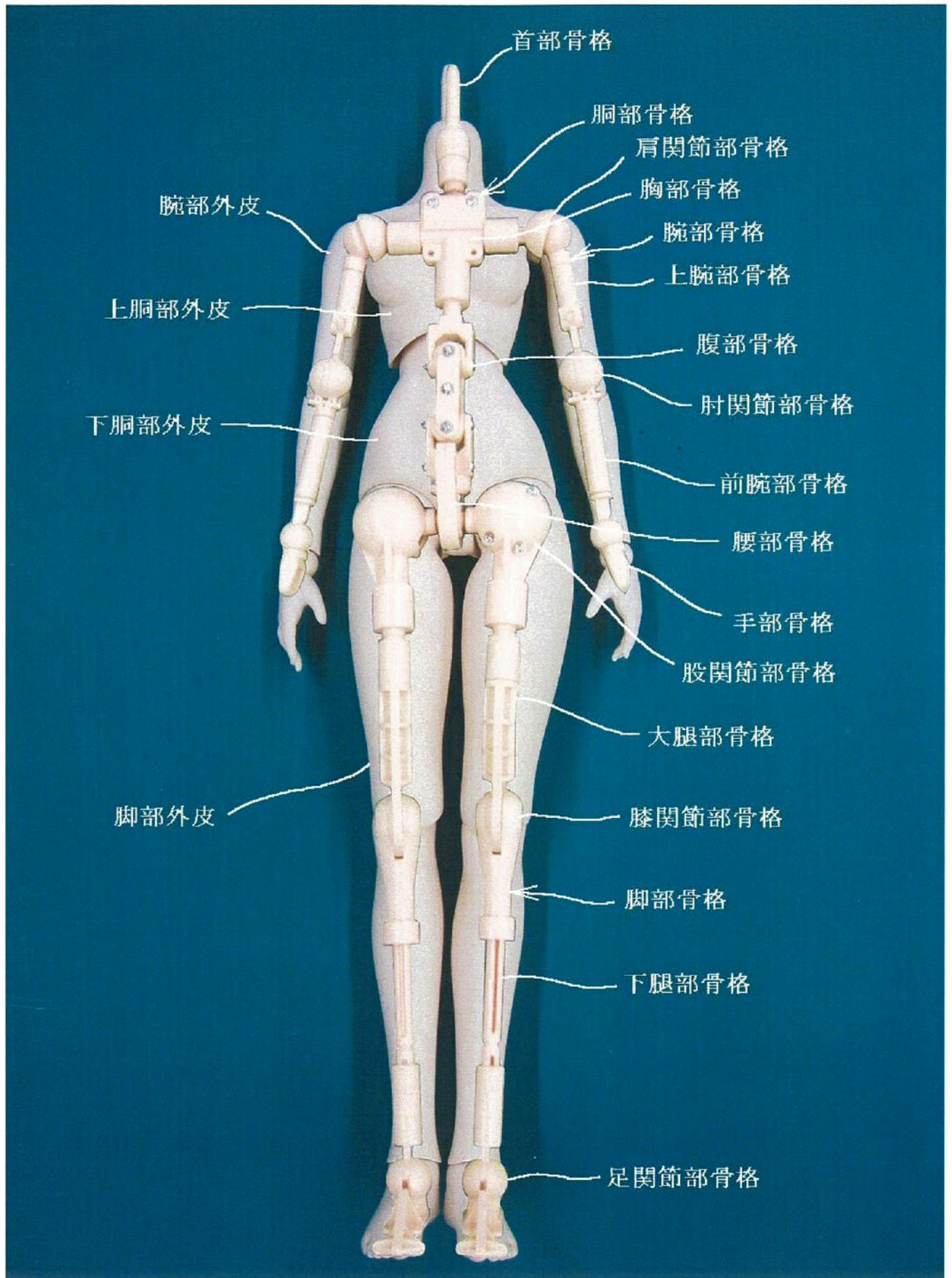
b) 胸部骨格の上部側には首部骨格が設けられている。

6 腕部骨格は，手部骨格，前腕部骨格，肘関節部骨格，上腕部骨格，肩関節部骨格からなる。

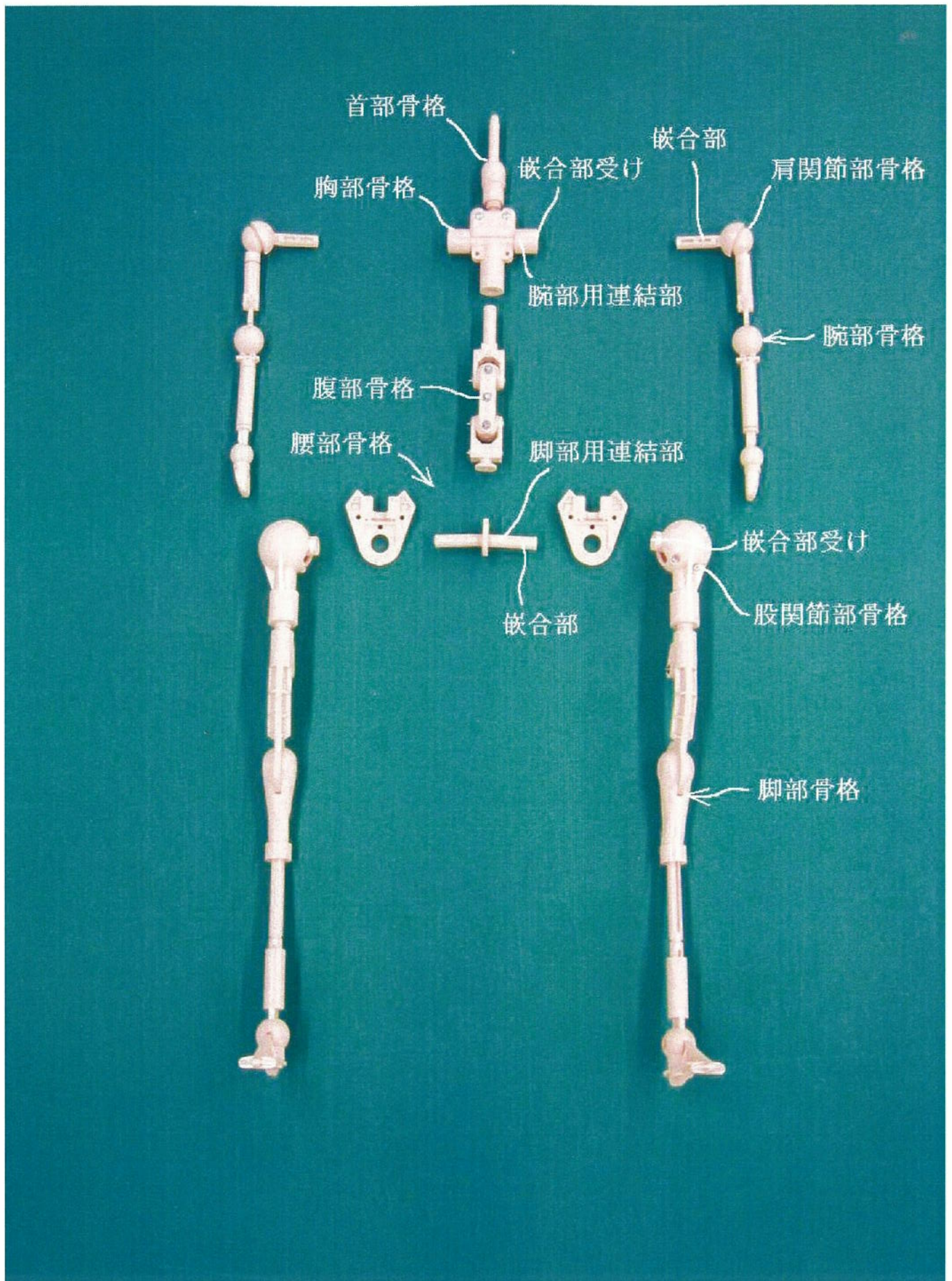
7 以上の特徴を有する軟質ソフトビニル製外皮及びABS樹脂製の骨格からなる全高580mm，全幅110mm，重量633gの可動人形用胴体。

イ号製品の構成図（１）

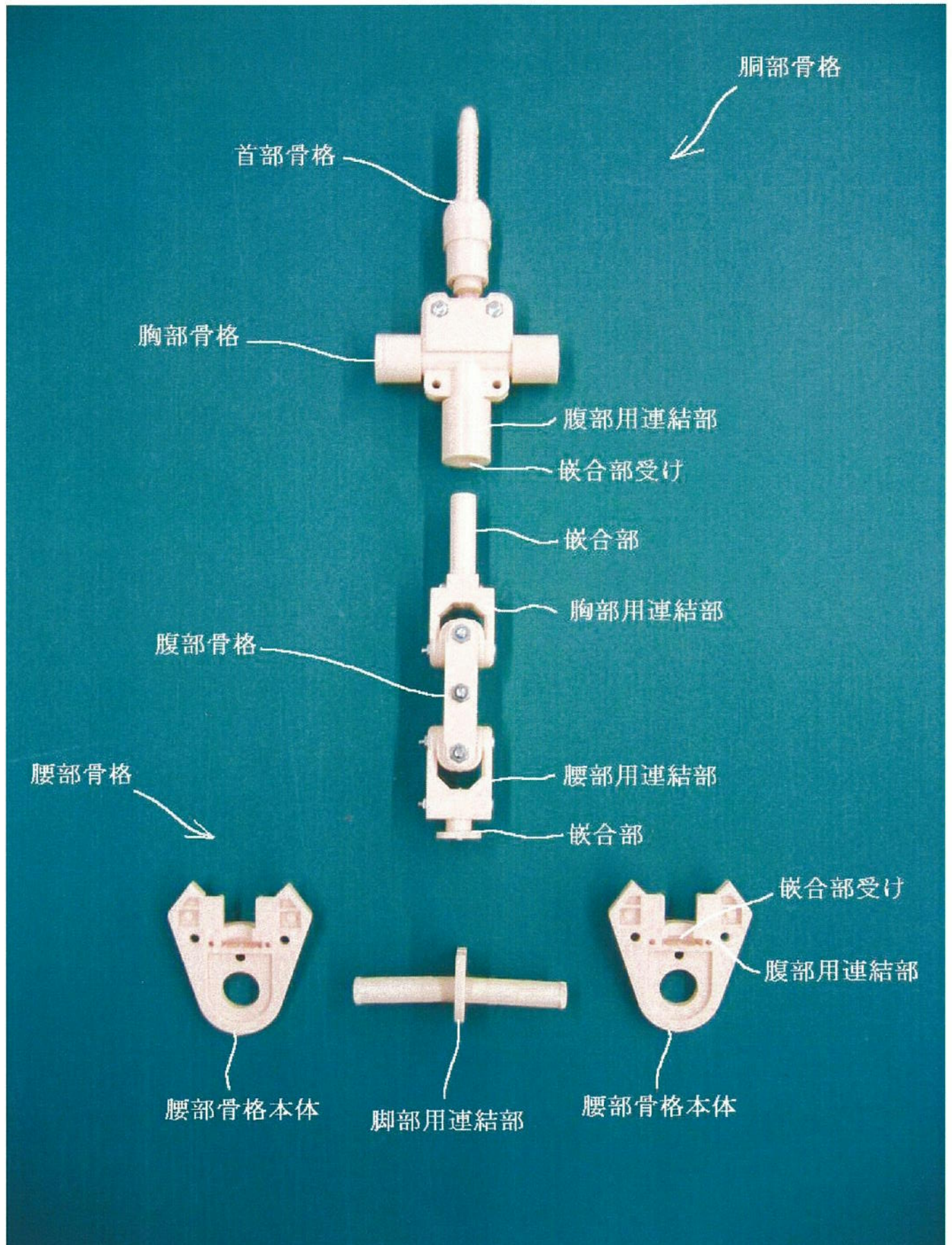
（別紙）



イ号製品の構成図（２）



イ号製品の構成図（3）



(別紙)

口号製品説明書

- 1 ① 少なくとも脚部（左右の両脚部），腰部，胸部（胴部），腕部（左右の両腕部）に相当する部分にソフトビニル製外皮がある。
② 外皮は，スラッシュ成形により成形された塩化ビニル樹脂製の中空の軟質材である。
- 2 ① 上記外皮とは別体で，かつ上記外皮に覆われた人形を構成する人形骨格群がある。
② 左右の脚部骨格は，股関節部骨格により胴部骨格（腰部骨格，腹部骨格，胸部骨格等からなる）に連結され，胸部骨格の左右に延設された肩関節部骨格により腕部骨格に接続される。
- 3 脚部骨格は，足関節部骨格（足首関節部），下腿部骨格，膝関節部骨格，大腿部骨格，股関節骨格部等からなる。
- 4 ① 腰部骨格は，腰部骨格本体と脚部用連結部とからなる。
 - a) 腰部骨格本体は，左右一对の板状部材を対向させてネジ止めして形成するものであり，その上部には，腹部骨格との連結のための嵌合部受けが設けられ，下部には脚部用連結部の嵌合部挿通孔が設けられている。
 - b) 脚部用連結部は，棒状でかつその長手方向中央部に係止板が設けられている。
 - c) 腰部骨格は，腰部骨格本体の対向させた左右の板状部材の内側に脚部用連結部の係止板を位置させることにより，脚部用連結部が腰部骨格本体から抜け落ちないように位置決めされている。
- ② 股関節骨格部には，腰部骨格の脚部用連結部の嵌合部と嵌合する嵌合部受けが設けられている。
- ③ 腹部骨格の下部側に腰部用連結部が設けられており，その下端には嵌

合部が設けられており、腰部骨格本体の上部側に設けられている腹部用連結部の嵌合部受けに嵌合されることにより腹部骨格と腰部骨格とが連結される。

5 ① 胴部骨格は、胸部骨格、腹部骨格、腰部骨格で構成されており、それぞれ別成形されると共に揺動可能、かつ嵌合やネジ止め等によって分離・組み立て可能に連結されており、胸部骨格の左右に設けられた腕部用連結部における嵌合部受けに、肩関節部骨格から延設された嵌合部が嵌合することにより連結される。

② a) 腹部骨格は、上部側に胸部用連結部を設け、下部側に腰部用連結部を揺動可能に設けてなり、上胴部外皮及び下胴部外皮によって覆われる。

b) 腹部骨格における腰部用連結部の下端には嵌合部が設けられている。

c) 腹部骨格における胸部用連結部は、胸部骨格における腹部用連結部の嵌合部受けに嵌合される嵌合部が設けられており、嵌合されることにより回転可能に連結される。

③ a) 胸部骨格は、上胴部外皮によって覆われ、下部側には、下方向に開口する嵌合部受けが設けられ、略中央部左右には、肩関節部骨格に延設された嵌合部と嵌合する嵌合部受けが設けられている。

b) 胸部骨格の上部側には首部骨格が設けられている。

6 腕部骨格は、手部骨格、前腕部骨格、肘関節部骨格、上腕部骨格、肩関節部骨格からなる。

7 以上の特徴を有する軟質ソフトビニル製外皮及びABS樹脂製の骨格からなる全高370mm、全幅80mm、重量304gの可動人形用胴体。